

黒部 溪谷 下ノ廊下



S 1 / 55000

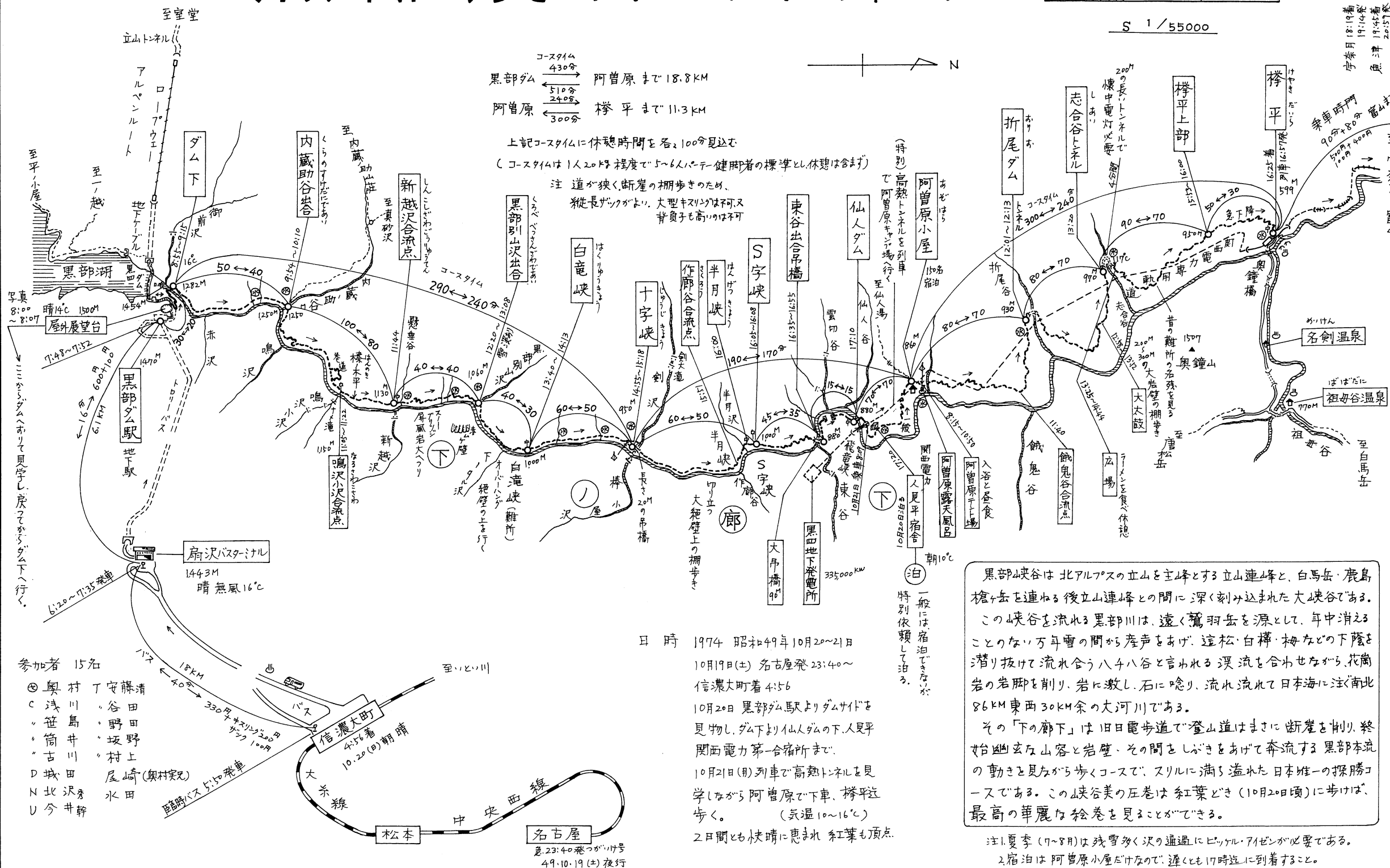
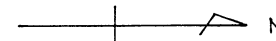
注 一般の人は
字奈月より富
山へ直行す。

$\begin{array}{r} \text{コ-スタイム} \\ 430\text{分} \\ \hline \text{黒部ダム} \end{array} \rightarrow \text{阿曾原 まで } 18.8\text{KM}$
 $\begin{array}{r} 510\text{分} \\ 240\text{分} \\ \hline \text{阿曾原} \end{array} \rightarrow \text{樽平 まで } 11.3\text{KM}$

上記コースタイムに休憩時間を各、100分見込む

(コースタイムは1人20kg程度で5~6人パーティー健脚者の標準とし、休憩は含まず)

注 道が狭く、断崖の棚歩きのため、
縦長ザックがより、大型キスリングは不可、
背負子も高いのは不可



黒部峡谷は北アルプスの立山を主峰とする立山連峰と、白馬岳・鹿島槍ヶ岳を連ねる後立山連峰との間に深く刻み込まれた大峡谷である。この峡谷を流れる黒部川は、遠く鷲羽岳を源として、年中消えることのない万年雪の間から産声をあげ、這松・白樺・榎などの下蔭を潜り抜けて流れ合う八千八谷と言われる溪流を合わせながら、花崗岩の岩脚を削り、岩に激し、石に唸り、流れ流れて日本海に注ぐ南北86KM東西30KM余の大河川である。

その「下の廊下」は旧日電歩道で登山道はまさに断崖を削り、終始幽玄な山容と岩壁、その間をしづきをあげて奔流する黒部本流の動きと見ながら歩くコースで、スリルに満ち溢れた日本唯一の探勝コースである。この峡谷美の圧巻は紅葉どき（10月20日頃）に歩けば、最高の華麗な絵巻を見ることのできる。

注1.夏季(7~8月)は残雪多く沢の通過にヒッテル・アイゼンが必要である。
2.宿泊は阿曾原小屋だけなので、遅くとも17時迄に到着すること。

奥村光信